

平成 25 年度

沼津工業高等専門学校動物実験委員会

報告書

○今年度の主な活動

1) 第1回動物実験委員会

平成25年6月5日 16:30～17:00

2階第2会議室

出席委員： XXXXXXXXXX

議題：

1. 委員長の選出

委員会規則第4条に基づき、委員の互選により XXXXXXXXXX が選出された。

2. 委員長による委員長代行の指名

委員会規則第4条に基づき、委員長代行は XXXXXXXXXX が指名された。

3. その他

以下の会議資料に従い、委員会の活動内容及び本校の動物実験の実施状況について確認を行った。

- ・「動物実験に関する指針」について（平成24年度）
- ・沼津工業高等専門学校動物実験委員会規則
- ・沼津工業高等専門学校における動物実験に関する指針
- ・沼津高専 動物実験委員会 公式ホームページ

今後の委員会は、特に問題が生じた場合には必要に応じて委員長が委員会を開いて討議することとし、問題がなければ年度末に今年度の動物実験の適正な実施についての確認を行うために第2回委員会を開催することとした。

以上

2) 臨時動物実験委員会

平成 25 年 8 月 2 日 (金) ~ 3 月 6 日 (火) メール会議

委員 : 

議題 :

今夏のインターンシップで C 4 の学生が旭化成に申請したところ、旭化成ファーマに配属され、動物実験を行うことになった。そのため、旭化成ファーマより、実験計画の所内申請書の写しが送られてきた。本校委員会では、特に本校外で実施される動物実験について承認を行う規定はないが、学外実習の授業内での事案のため、念のため委員に実験計画書を回覧した。

内容については適切な実験計画であり、問題ない旨を先方に伝えた。

3) 第2回動物実験委員会

平成26年3月12日(水)～3月18日(火) メール会議

委員: [REDACTED]

報告:

1.

動物飼育室の流しの配管より水漏れがあり、施設係に依頼し、1月29日に修理を行った。

議題:

1. 平成25年度動物実験報告書の確認

次ページに掲載の実験について、動物の検疫、実験の安全性、糞尿処理・死体処理、動物の苦痛排除等が適切に行われたことを確認した。

これらの動物実験に関する補足説明

- ・実験に用いた試薬には、毒劇物および遺伝子操作、感染症に関わるものは含まれなかった。
- ・実験に用いた動物は、正規業者(日本SLC社)より購入したもので、定期的な観察により外見上の異常は確認されなかった。記録簿は、この書類の末尾に添付する。また、遺伝子組み換え動物は、使用しなかった。
- ・動物は、頸椎脱臼またはエーテル麻酔下に安楽死させた。
- ・飼料は通常の市販実験動物用飼料(主に日本SLC社製及び日本クリア社製)、床敷きは通常のチップ(日本SLC社製)、飲料水は通常の水道水を使用した。
- ・糞尿の処理は、床敷きのチップ(おがくず)として沼津市が可燃物として収集した。
- ・動物の死体は、三島函南広域行政組合(みしま聖苑)に焼却処理を依頼した。記録資料は、別途保存。

継続検討事項:

1. 動物実験指針等の内容改善の検討について、今後も継続して行うものとする。
2. 「文部科学省が所管する機関の動物実験に関する情報公開度調査(末尾資料)」において、本校はポイント2、偏差値45と評価された。実際にはHPにおいて公開しているにも関わらず、わかりづらいためにポイントになっていない項目が多く、今後、HPでの開示方法を工夫することを検討する必要がある。

平成26年度当委員会の委員の推薦:

平成26年度当委員会委員について、以下のように校長に推薦した。

動物実験に係る教員(若干名): [REDACTED]

動物実験に係らない教員(若干名): [REDACTED]

動物実験に係る技術職員(若干名): [REDACTED]

総務課長

平成 25 年度自己点検報告書の作成：

平成 25 年度自己点検報告書(本文書)を作成し、その内容について委員の了承を得た。

以上